

黒海地域支援など 日本外交巡り議論

都内で国際会議

日本と黒海周辺諸国の有識者が多国間協力のあり方を探る国際会議「日本・黒海地域対話」(グローバル・フォーラム主催、読売新聞社など後援)が21日、都内で開かれた。会議では、ロシアやトルコなど10か国

の参加者約120人が黒海地域などの支援策を掲げた日本の新たな外交方針「自由と繁栄の弧」の展望などについて意見を交わした。

会議は、2005年に続き2回目。参加者らは、黒海に面したルーマニアとブルガリアが07年1月に欧州連合(EU)に加盟し、黒海地域が「欧州の東境」とな

り重要性が増したと指摘。

その上で、日本の麻生外相(当時)が06年11月に提唱した、東欧から東南アジアにかけて地域で民主制度の定着や経済発展を支援する「自由と繁栄の弧」について、「アジアと欧州の持続的な発展協力につながる」(羽場久滉子・青山学院大教授)などの意見が相次いだ。(国際部 田尾茂樹)